

## ワークショップ

「次世代の最高エネルギー宇宙線観測の実現へ向けて」

開催日時：2023年5月20日(土) 13:00 — 17:30

開催場所：大阪電気通信大学(寝屋川キャンパス)J号館6階610(小ホール)

大阪府寝屋川市初町18-8 京阪本線寝屋川市駅下車 徒歩7分

主催：大阪電気通信大学エレクトロニクス基礎研究所

エレクトロニクス基礎研究所では、ワークショップ「次世代の最高エネルギー宇宙線観測の実現へ向けて」を企画いたしました。

宇宙線は、その発見以来10桁を超える広いエネルギー領域に渡って観測されており、なかでも10の20乗電子ボルトを超えるエネルギーを持つ最高エネルギー宇宙線の起源は宇宙物理学において解決されるべき大きな謎である。近年、テレスコープアレイ実験やピエールオージェ観測所により、最高エネルギー領域の宇宙線の到来方向の異方性が報告されているが、宇宙線起源の決定的な証拠を掴むためには次世代実験が必要不可欠である。本ワークショップでは、次世代実験のための検出器の開発状況や最高エネルギー宇宙線の理論的研究の観点から、最高エネルギー宇宙線の起源を解明するための今後の戦略および方向性について検討する。

プログラム：

13:00 -- 13:20 「FAST 実験」(櫻井駿介, 大阪公立大)

13:20 -- 13:40 「CRAFT 実験」(多米田裕一郎, 大阪電通大)

13:20 -- 14:10 招待講演「地表検出器による将来計画のレビュー」(木戸英治, 理化学研究所)

14:20 -- 15:05 招待講演「最高エネルギー宇宙線の理論的研究」(大平豊, 東京大学)

15:05 -- 15:50 招待講演「最高エネルギー宇宙線観測に期待されること」(毛受弘彰, 名古屋大)

16:00 -- 16:30 「未来の学術振興構想へのGCOSの提案について」(藤井俊博, 大阪公立大)

16:30 -- 17:30 議論

世話人

多米田裕一郎(大阪電通大)

藤井俊博(大阪公立大)